

令和3年度 胃がん内視鏡検診成績

新潟市医師会胃がん検診検討委員会

はじめに

令和3年度の新潟市の対策型胃がん検診のうち、内視鏡による検診の成績を報告する。検診自体は令和4年3月末で終了しているが、治療も含めた最終結果の集積のため、例年報告を一年後としていたが、報告が遅くなったことをお詫び申し上げる。

平成15年に胃内視鏡検診が開始されて以来、今回の集計は19年目の検診報告となる。平成15年度の受診者は8,122例であった。新潟市では令和元年度（2019年度）から内視鏡検診のみ2年に1回となり、令和元年度の受診者は27,615例であった。令和2年1月から日本国内で流行し始めた新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響によって、令和2年度の受診者は20,657例と減少し、令和3年度は21,930例であった。また、微減を続けている直接X線検診は、令和2年度より199例増加し11,866例であった。表には示していない集団検診の5,499例を加えると、合計では39,295例となり、前年度より3,203例増加した。新潟市の胃検診カバー率は、全国に合わせ対象者の母数を40歳以上の全住民に変更した令和元年度より1.8%低い7.9%であった。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前年度の7.3%より微増となった。

1. 受診件数とダブルチェック率（表1、2）

表1に施設検診の受診者数の推移とその内訳を示した。内視鏡検診受診者は令和2年度より1,273例増加し21,930例であった。また、施設X線検診は199例増加し11,866例であった。

専門医が2名以上いる施設では、自施設でのダブルチェックが認められており、その施設は

令和2年度より1施設減り、14施設であった。委員会のダブルチェックを要する検診施設は124施設と前年に比し2施設増加している（表2）。また、委員会でのダブルチェックを要する症例は16,821例と前年度に比して923例増加し、全症例での比率は64.9%で前年に比してほとんど変わりはない。委員会によるダブルチェックは各検診施設で撮影された画像の提出で行われるが、12例が機器等の故障で画像が提出されなかった。これらの症例では、単に画像の撮影のみが不良であり観察は十分であったものと思われる。最終的には、不十分な検査と判断せざるを得ないため、画像撮影管理には十分な注意が必要である。

2. がん発見率（表3、4）

表3に令和3年度の検診成績の詳細を示した。発見胃がんは185例で令和2年度より49例増加し、発見率は0.84%で前年の0.66%より増加している。発見胃がんのうち、早期胃がんは判明しているだけでも144例、77.8%であり、これらの症例のうち100例、69.4%は治療を内視鏡的切除で行っており、早期発見は患者のQOLに大きく貢献している。

発見胃がんのうち、ひとかきがんの項目があるが、これは生検でがんと診断され、さらに内視鏡所見で十分な早期胃がんの所見を示しているが、治療時はがんが検出できなかった症例である（生検での過剰診断の可能性が高い例は除いている）。これらの症例は、生検でがん細胞が全部脱落してしまったか、あるいは小さくなり過ぎて治療時発見困難となったかのいずれかと考えられる。そのため、主治医にはその後

の慎重な経過観察をお願いしたい。

さらに内視鏡検診では食道がんが25例、0.11%（胃がんに対して13.5%）と高い発見率を示している。早期食道がん率は84.0%、内視鏡切除率は14例66.7%であった。

その他の悪性疾患としては、胃MALTリンパ腫、GIST、十二指腸がんなどが発見されている。

表4には内視鏡検診の始まった平成15年度からの胃がん及びその他の悪性腫瘍を含めたがん全体の発見率の推移を示した。

内視鏡検診の発見胃がんは185例、発見率は0.84%と高レベルの検診を維持していると考ええる。先生方のご努力に感謝したい。

3. ダブルチェックの効果（表5、6）

表5に読影委員会での読影結果を示した。検診施行時の診断とダブルチェック時の診断の一致（読影基準1と3）は、読影可能症例の16,809例中16,100例、95.8%であった。そのうち「異常なし」の一致が58.0%で、「有所見」の一致が37.7%であった。

一方、16,809例中218例は、読影基準6で、検診医の読影「異常なし」に対して新たに所見が追加された症例であり、そのうち4例（早期胃がん3例、胃がん以外の悪性腫瘍1例）

（1.83%：4例/218例）が悪性腫瘍であった。また、読影基準5は、検診医が「有所見」としていたが、それとは別部位に所見（別病変）が指摘された症例である。その61例のうち2例（早期胃がん1例、胃がん以外の悪性腫瘍1例）（3.28%：2例/61例）が悪性腫瘍であった。ダブルチェックの有効性・必要性を再認識させてくれるものである。

表6は自施設でダブルチェックが可能な14施設と、委員会でのダブルチェック施設124施設とのがん発見率を比較した。両者で明らかな差が見られるが、年々差は縮まっている。

おわりに

令和3年度の検診結果について述べたが、なるべく早く令和4年度の成績をまとめ、ご報告したい。

また令和元年度から2年に1回の検診となったため、検診数が減ったのは言うまでもないが、新型コロナウイルス感染症の蔓延の影響を受けた前年度より受診者数は増加している。世の中の情勢の変化にかかわらず、『がん検診の早期発見・早期治療の重要性』はいささかも変わりが無い。今後も先生方には検診受診の重要性を継続的に啓発していくようお願いしたい。

表 1 年度別胃がん施設検診数

検査術式	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	
内視鏡検査	委員会 ダブルチェック	6,326	9,153	13,087	17,136	20,940	24,608	27,038	29,083	* 30,071	* 31,882	* 33,360	* 34,169	* 33,220	* 34,382	* 33,640	* 33,347	* 20,970	* 15,898	* 16,821
	施設内 ダブルチェック	1,796	2,572	4,561	6,751	7,817	8,275	8,345	8,471	8,573	9,424	9,914	10,112	10,361	10,707	10,457	10,152	6,645	4,759	5,109
	計	8,122	11,725	17,648	23,887	28,757	32,883	35,383	37,554	38,644	41,306	43,274	44,281	43,581	45,089	44,097	43,499	27,615	20,657	21,930
		28.8	38.1	47.0	55.3	60.7	64.9	67.1	69.2	71.3	73.7	76.0	76.8	76.3	77.7	78.2	78.5	69.8	63.9	64.9
X線直接撮影		20,059	19,025	19,916	19,335	18,601	17,808	17,362	16,704	15,525	14,744	13,687	13,386	13,518	12,920	12,322	11,890	11,971	11,667	11,866
		71.2	61.9	53.0	44.7	39.3	35.1	32.9	30.8	28.7	26.3	24.0	23.2	23.7	22.3	21.8	21.5	30.2	36.1	35.1
合 計		28,181	30,750	37,564	43,222	47,358	50,691	52,745	54,258	54,169	56,050	56,961	57,667	57,099	58,009	56,419	55,389	39,586	32,324	33,796

* 読影不能例を含む

※ 令和1年度から内視鏡検診対象者は偶数年齢のみ

表 2 年度別検診機関数

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
読影委員会 チェック機関	74	79	111	109	113	115	119	123	125	125	129	129	125	126	124	122	123	122	124
施設内 チェック機関	9	10	13	17	16	15	14	14	13	14	14	14	15	15	16	15	15	15	14
合 計	83	89	124	126	129	130	133	137	138	139	143	143	140	141	140	137	138	137	138

表3 令和3年度 検診成績

区分	受診者数		要精検者数		精検受診者数		精 検 結 果										その他		異常なし ()内は 胃底腺 ポリープ									
	A		B		C		発見胃がん					胃がんの疑い		発見食道がん						その他の 悪性腫瘍								
	進行がん		早期がん		（ ）内は粘膜内がん		確定胃がん		深達度 不明がん		進行がん		早期がん		f		深達度 不明がん			F		G						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女					
40歳	102	407	3	7	3	7																3	5	2 (1)				
45歳	47	217	0	8	0	8																	4	4	4 (0)			
50～54歳	172	611	6	8	6	8																3	5	3 (0)	3 (0)			
55～59歳	135	529	8	11	8	11																1	5	2 (1)	5 (1)			
60～64歳	495	1,302	22	52	22	52	2	1 (0)	3 (2)													1	13	23 (0)	7 (2)			
65～69歳	1,166	1,825	84	79	84	78	2	10 (8)	4 (3)	1 (1)												2	36	29	33 (2)	45 (2)		
70～74歳	3,176	4,366	246	239	243	238	7	28 (16)	21 (14)													1	1	105	94	92 (4)	114 (8)	
75～79歳	1,384	1,745	98	103	97	102	2	11 (6)	16 (14)							1								2	43 (0)	39 (1)	43 (1)	
80～84歳	1,434	1,790	136	99	135	98	5	23 (18)	9 (6)	1 (1)												2	1	55	44	41 (3)	40 (1)	
85歳以上	484	543	60	44	60	42	3	9 (8)	9 (7)	1 (1)															26	22	18 (1)	8 (1)
	8,595	13,335	663	650	658	644	19	82 (56)	62 (46)	3 (3)	1 (1)	0	1	3	1	15	6	0	0	6	4	289	271	235 (9)	286 (21)	235 (9)	286 (21)	
合計	21,930		1,313		1,302		30		144 (102)		4 (4)		7		1		4		21		0		560		521 (30)			
																			84.0% (f/E)				560					
																			0.11% (E/A)						0.05% (F/A)			

早期胃がん 144例中、内視鏡切除 100例
 進行胃がん 30例中、非切除 9例 (化学療法 9)
 早期食道がん 21例中、内視鏡切除 14例
 その他の悪性腫瘍
 胃MALTリンパ腫 1
 GIST 5
 十二指腸がん 3
 直腸がん 1

表5 読影基準別発見がん

読影基準	件数 A	率 A/総数	発 見 胃 が ん						胃がん以外の悪性腫瘍		計	
			総数 B	率 B/A	確 定 胃 が ん				総数 C	率 C/A	総数 D	率 D/A
					進行	早期	ひとかき	深達度不明				
1	9,762	58.0									0	0.00
2	379	2.3									0	0.00
3	6,338	37.7	131	2.07	26	96	4	5	24	0.38	155	2.45
4	51	0.3									0	0.00
5	61	0.4	1	1.64		1			1	1.64	2	3.28
6	218	1.3	3	1.38		3			1	0.46	4	1.83
読影不能	12	0.1									0	0.00
計	16,821		135	0.80	26	104	4	5	26	0.15	161	0.96

〔読影基準〕 1. 検診医と読影医ともに「異常なし」
 2. 検診医「有所見」、読影医「異常なし」
 3. 検診医と読影医ともに「有所見（同一診断）」
 4. 検診医「有所見」、読影医同部位の「別診断」
 5. 検診医「有所見」、読影医別部位の「別所見」
 6. 検診医「異常なし」、読影医「有所見」

表6 施設内チェックと委員会チェックとの比較（胃がん+その他のがん）

1

がん全体	検査件数	施行率（%）	発見がん	発見率（%）
読影委員会チェック	16,809	76.7	161	0.96
施設内チェック	5,109	23.3	59	1.15
計	21,918	100	220	1.00

2

胃がん	検査件数	施行率（%）	発見がん	発見率（%）
読影委員会チェック	16,809	76.7	135	0.80
施設内チェック	5,109	23.3	50	0.98
計	21,918	100	185	0.84

3

早期胃がん	検査件数	施行率（%）	発見がん	発見率（%）
読影委員会チェック	16,809	76.7	100	0.59
施設内チェック	5,109	23.3	44	0.86
計	21,918	100	144	0.66

4

早期胃がん（ひとかき含む）	検査件数	施行率（%）	発見がん	発見率（%）
読影委員会チェック	16,809	76.7	104	0.62
施設内チェック	5,109	23.3	44	0.86
計	21,918	100	148	0.68

※読影不能12例を含まない